

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003070	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	西田 孝洋／Nishida Koyo		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	西田 孝洋／Nishida Koyo		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	西田 孝洋／Nishida Koyo		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	koyo-n▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	医歯薬学総合教育研究棟7F薬剤学分野教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金：14-17時※あらかじめアポイントメントを取る		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになるかどうか、科学的な思考や立案が出来るようになるか、学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになるかどうか、創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになるかどうか、ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになるかどうかは、レポート（40%）、プレゼンテーション（40%）、取組姿勢（20%）で評価する。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスを参考に図書やインターネットなどで情報収集（2 h） 事後学修：授業内容を図書やインターネットなどで復習（2 h）		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、歴史		

教科書・教材・参考書/Materials	長大生のためのラーニングチップス https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」を活用下さい。 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説（対面） https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
第2回	図書館活用ガイダンス（対面）
第3回	小島養生所資料館・分析窮理所のペア学習（予習）、見学ルートを調べておく（対面）
第4回	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る）（対面）
第5回	プレゼン資料作り&プレゼンルブリック学習（小嶋養生所資料館・分析究理所）（対面）
第6回	レポート書き&レポートルブリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）（対面）
第7回	中グループでの発表会（事前打合せ）（対面）
第8回	研究と勉強の違いや薬学における基本研究の重要性について調べ学習（対面）
第9回	下村先生のプレゼンを視聴（対面） (Youtube) https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY
第10回	下村脩名誉博士顕彰記念館見学（対面）
第11回	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り（対面）
第12回	小グループでの発表会（対面）
第13回	中グループ：メンターの研究を理解する（対面）
第14回	中グループ：メンターの研究を理解する（対面）
第15回	総合演習（対面）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003071	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山吉 麻子／Yamayoshi Asako		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	山吉 麻子／Yamayoshi Asako		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	山吉 麻子／Yamayoshi Asako		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	asakoy▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	薬学部本館4階 機能性分子科学研究室		
担当教員TEL/Tel	095－819－2438		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12：00～13：00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	「初年次セミナーガイドライン（令和5年度版）」付録ループリックの到達目標2未満を不合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：次回講義内容について目を通し準備しておくこと。発表の前は自主的に練習すること(2h) 事後学習：講義日に取り組んだ課題について整理し考えを纏めておくこと。発表の際の指摘や反省点を次の機会までに反映させること(2h)		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書：授業中に紹介		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	実施方法：原則、対面とする。 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/ 台風等不測の事態により全学的休講措置が取られた際は、土曜日に補講を行うことがある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回（4/10）	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 実施方法：対面
第2回（4/17）	図書館ガイダンス 実施方法：対面
第3回（4/24）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る） 実施方法：対面
第4回（4/24）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る） 実施方法：対面
第5回（5/8）	小グループ：プレゼン資料作り&プレゼンループリック学習 下村脩名誉博士顕彰記念館見学 実施方法：対面
第6回（5/15）	小グループ：下村先生のプレゼンを視聴 （Youtube） https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY 実施方法：対面
第7回（5/22）	小グループ：プレゼン資料作り 実施方法：対面
第8回（5/29）	小グループでの発表 実施方法：対面
第9回（6/5）	中グループでの発表準備（テーマ例：長崎大学における生命科学研究について、など） 実施方法：対面
第10回（6/12）	中グループ：プレゼン資料作り&プレゼンループリック学習 実施方法：対面
第11回（6/19）	中グループ：プレゼン資料作り 実施方法：対面
第12回（6/26）	中グループ：プレゼン資料作り 実施方法：対面
第13回（7/3）	中グループでの発表 実施方法：対面
第14回（7/10）	中グループ：メンターの研究を理解する（城谷先生） 実施方法：対面
第15回（7/24）	中グループ：メンターの研究を理解する（山吉） 実施方法：対面

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003072	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	安孫子 ユミ／Abiko Yumi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	安孫子 ユミ／Abiko Yumi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	安孫子 ユミ／Abiko Yumi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yumi.abiko.11▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	薬学本館5F、衛生化学実験研究室（4）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2442		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17：45～19：30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1）知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2）科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3）学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4）創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5）ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	単位を認定する場合は「合」、認定しない場合は「否」とする。授業への出席を前提とし、付録ルーブリックの到達目標2未満を不合格（否）とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：必要な場合は、授業中に適宜指定する。また、グループワーク等の前提となる事前学習では、授業で紹介するWebサイトや参考文献からの情報収集や、各種情報をまとめた図表の作成等を中心に行う。(0.5h) 事後学習：毎回の授業で該当する箇所をラーニングティップス等で復習すること。(0.5h)		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	ラーニングティップス等		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	安孫子ユミ（教員歴9年，他大学での担任/メンター教員経験有り）
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回 4/10	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
第2回 4/17	資料収集ガイダンス、図書館メディアルーム（予定）
第3回 4/24	小島養生所資料館・分析窮理所のペア学習（予習）、見学ルートの調査
第4回 5/12	小島養生所資料館・分析窮理所見学 *5/8が通常の時間割であるが、12日に変更予定
第5回 5/12	小島養生所資料館・分析窮理所見学 *5/8が通常の時間割であるが、12日に変更予定
第6回 5/15	小島養生所資料館・分析究理所に関するプレゼン資料作り、プレゼンループリック学習
第7回 5/22	小島養生所資料館・分析究理所に関するレポート書き、レポートループリック学習
第8回 5/29	中グループでの発表会
第9回 6/5	研究と勉強の違いや薬学における基本研究の重要性について調べ学習
第10回 6/12 5限	下村脩名先生のプレゼンを視聴（Youtube） https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY
第11回 6/12 6限	下村脩名誉博士顕彰記念館見学
第12回 6/26	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り
第13回 7/3	小グループでの発表会
第14回 7/10	メンターの研究を理解する 1（中グループで実施）
第15回 7/24	メンターの研究を理解する 2（中グループで実施）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003073	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	城谷 圭朗／Shirotani Keiro		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	城谷 圭朗／Shirotani Keiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	城谷 圭朗／Shirotani Keiro		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	keiroshiro▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	薬学部本館2階 ゲノム創薬学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2436		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金曜日 13：00～17：00（メールで要予約）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1）知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2）科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3）学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4）創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5）ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	「初年次セミナーガイドライン（令和5年度版）」付録ループリックの到達目標2未満を不合格とする」。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習（2時間）：図書館やインターネットから情報を収集する。プレゼンテーション前には発表練習を繰り返し（10回以上）内容の質的向上を行う。 事後学習（2時間）：グループディスカッションで疑問になったこと、プレゼンテーションでの質問に答えられなかったことについて、個人で調査し次の授業で共有する。あるいはプレゼン資料やレポートに反映させる。		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、創薬研究、基礎医学研究、研究の歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 https://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面
学生へのメッセージ/Message for students	薬学の歴史、長崎大学薬学部への歴史、下村脩博士の研究業績、薬学基礎研究などについて、グループ内および先輩とのディスカッションを通して理解を深め、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を高めましょう。教科書・教材・参考書に記載したものを自全事後学習に活用してください。長大生のためのラーニングティップス（2022版）は、一度読んでだけではすべてを理解できないので、毎回の授業前に読んでください。また授業を通してグループ内での交流も深めてください。授業到達目標を達成するためには、授業に出席して積極的に課題に関わる必要があります。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回（4/10）	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 小島養生所資料館・分析窮理所の学習（予習）、見学ルートを調べる
第2回（4/17）	資料収集ガイド（中央図書館）
第3回（4/24）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る）
第4回（4/24）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る）
第5回（5/8）	プレゼン資料作り&レポート書き&プレゼンループリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）
第6回（5/15）	プレゼン資料作り&レポート書き&プレゼンループリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）
第7回（5/22）	プレゼン資料作り&レポート書き&プレゼンループリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）
第8回（5/29）	小グループでの発表会
第9回（6/5）	下村先生のプレゼンを視聴（Youtube） https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY 下村脩名誉博士顕彰記念館見学 グループディスカッション準備
第10回（6/12）	グループディスカッション1（プレゼンテーマ決定・学習・プレゼン資料作り・レポート書き）
第11回（6/19）	グループディスカッション2（プレゼンテーマ決定・学習・プレゼン資料作り・レポート書き）
第12回（6/26）	グループディスカッション3（プレゼンテーマ決定・学習・プレゼン資料作り・レポート書き）
第13回（7/3）	中グループでの発表会
第14回（7/10）	中グループ：メンターの研究を理解する（その1）
第15回（7/24）	中グループ：メンターの研究を理解する（その2）

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003074	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	塚原 完／Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	塚原 完／Tsukahara Tamotsu		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	塚原 完／Tsukahara Tamotsu		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ttamotsu▲nagasaki-u.ac.jp （メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	創薬薬理学分野		
担当教員TEL/Tel	095-819-2473（内線：2473）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 13：00～17：00（事前にメールで予約をすること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1) 知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2) 科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3) 学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4) 創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5) ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ■D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	付録ルーブリックの到達目標2未満を不合格とする。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：シラバスを参考にインターネットなどで情報収集（2h） 事後学修：授業内容をインターネットなどで復習（2h）		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/ 長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面とオンライン
学生へのメッセージ/Message for students	小グループ（塚原班）、中グループ（塚原班・福田班）内で友人を作ってください。 長大生のためのラーニングティップス、長崎薬学史の研究を事前・事後学修に活用してください。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	塚原 完／米国州立大学における実務経験／医薬品の開発研究、特に探索研究における講義。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回 (4/11) (対面)	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
第2回 (4/18) (対面)	図書館ガイダンス
第3回 (4/25) (対面)	小島養生所資料館・分析窮理所のペア学習（予習）、見学ルートを調べておく
第4回 (4/25) (対面)	小島養生所資料館・分析窮理所見学（グループの写真を撮る）
第5回 (5/9) (対面)	プレゼン資料作り&プレゼンルブリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）
第6回 (5/16) (対面)	レポート書き&レポートルブリック学習（小島養生所資料館・分析窮理所）
第7回 (5/23) (対面)	小グループでの発表会
第8回 (5/30) (対面)	中グループでの発表会
第9回 (6/6) (対面)	研究と勉強の違いや薬学における基本研究の重要性について調べ学習・レポート提出
第10回 (6/13) (オンライン)	下村先生のプレゼンを視聴（Youtube） https://www.youtube.com/watch?v=QzCmULUgMpY
第11回 (6/20) (対面)	下村脩名誉博士顕彰記念館見学
第12回 (6/27) (対面)	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り
第13回 (7/4) (対面)	下村先生の業績のプレゼンテーション実施とレポート提出
第14回 (7/11) (対面)	メンターの研究を理解する。
第15回 (7/18) (対面)	メンターの研究について調べ学習・レポート提出

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003075	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（薬学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	福田 隼／Hayato Fukuda		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	福田 隼／Hayato Fukuda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	福田 隼／Hayato Fukuda		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	薬学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hfukuda▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	薬品製造化学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2427		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月～金 13：00～17：00（事前にメールで連絡すること）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	薬学科・薬科学科混成グループによる連携学習を行う。長崎における薬学の歴史や医薬品に関するテーマについて共同で学習する。同じ場で互いに学び、互いを学び、互いから学ぶとともに相互理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	1）知的活動への動機づけを高め、大学生として自主的な学習が出来るようになる。DP-1 2）科学的な思考や立案が出来るようになる。DP-3 3）学習テーマの課題遂行を通して、問題抽出・解決能力を身につけ、情報収集、ディスカッション、プレゼンテーション、レポートなどが作成できるようになる。DP-2 4）創薬・育薬に携わる者として必要なコミュニケーションができるようになる。DP-5 5）ものの見方や考え方の多様性を理解し、リーダーシップ、フォロワーシップを発揮できるようになる。DP-4		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート（35%）、プレゼンテーション（50%）、取組姿勢（15%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学修：シラバスを参考にインターネットなどで情報収集（2 h） 事後学修：授業内容をインターネットなどで復習（2 h）		
キーワード/Keywords	生命、健康、医療、医薬品、歴史		
教科書・教材・参考書/Materials	長崎薬学史の研究 http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/history/research/index.html		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回（4月11日）	自己紹介、LACSの使い方、Zoomの使い方、長崎大学ラーニングチップスの使い方の解説（対面）
第2回（4月18日）	図書館（対面）
第3回（4月25日）	小島養生所資料館・分析窮理所のペア学習（予習）、見学ルートを調べておく（対面）
第4回（5月9日）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（対面）
第5回（5月9日）	小島養生所資料館・分析窮理所見学（対面）
第6回（5月16日）	プレゼン資料作り（小島養生所資料館・分析窮理所）(1)（対面）
第7回（5月23日）	プレゼン資料作り（小島養生所資料館・分析窮理所）(2)（対面）
第8回（5月30日）	プレゼン資料作り（小島養生所資料館・分析窮理所）(3)（対面）
第9回（5月9日）	中グループでの発表会（対面）
第10回（6月13日）	下村先生のプレゼンを視聴（Youtube）（対面）
第11回（6月20日）	下村脩名誉博士顕彰記念館見学（対面）
第12回（6月27日）	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り(1)（対面）
第13回（7月4日）	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り(2)（対面）
第14回（7月11日）	下村先生の業績や基礎研究の重要性に関する調べ学習・プレゼン作り(3)（対面）
第15回（7月18日）	小グループでの発表会（対面）